

2025年12月期 決算補足説明資料

JIG-SAW株式会社

2026年2月2日

2026年度のJIG-SAW

44四半期連続増収と確実な利益、そして継続的な先行投資

上場以降の過去11年間、44四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長（前年同期比較）をしており、既存事業から創出される継続的かつ着実な事業利益を毎年度確保・投資源泉とし、来るべき壮大なIoT化と生成AIモデルによるデータコントロール時代に向け、**高い成長への着実な取り組み**とともに、**生成AIを軸にした自動オペレーションサービスの開始、自動運転ソフトウェア&オペレーション及び米国IoTサービスの売上貢献開始、各種SaaSサービス投入を引き続き実施**してまいります。

EXG ↗（Exponential Growth：指数関数的な成長）↗

現行既存事業であるデータコントロール事業における膨大なハンドリングデータをベースにした**生成AI制御サービスのいち早い市場投入**と、**グローバルIoTサービスの売上貢献、ユーザー部門切り出しモデル（カーブアウト）**を一気に進めてまいります。

EXG ↗をより一層高いレベルで実行していくための先行投資と新事業開発

IoT分野においては、すでに当社のIoTコア技術が各国で高く評価されており、北米でのビジネスが2026年度から実際の売上数字に繋がる動きになります。事実、**北米において生成AIモデルのIoTデータ処理についても、すでにテスト段階での参画企業が100社を超えており、欧米での展開を加速します。**また、自動運転ソフトウェアライセンスの商用化／ビジネス拡大等も一気に推し進めて参ります。

上場以来**過去最高**の月額課金売上の**プラス成長**

(単位：千円)

4,000,000

3,500,000

3,000,000

2,500,000

2,000,000

FY2021

FY2022

FY2023

FY2024

FY2025

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年度から適用しており、2021年12月期の売上高については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

営業利益の四半期推移

2025年は東京本社移転による多額のコストが生じたものの、営業利益は前年と同水準まで回復しており、想定を大幅に上回る改善が続いております。

	金額（単位：千円）				増減率			
	1Q	2Q	3Q	4Q	前1Q比	前2Q比	前3Q比	前4Q比
FY2024	221,027	385,256	444,423	556,625	2.00%	13.70%	-4.60%	-11.00%
FY2025	146,393	274,269	397,260	549,776	-33.80%	-28.80%	-10.60%	-1.20%

研究開発費推移

研究開発・販売促進・人的資本投資・グローバル展開のための先行投資に加え、
2024年から2025年にかけての東京本社移転・統合を行いながらも営業利益は堅調に推移

※研究開発は主にAI、自動運転、再生医療分野など

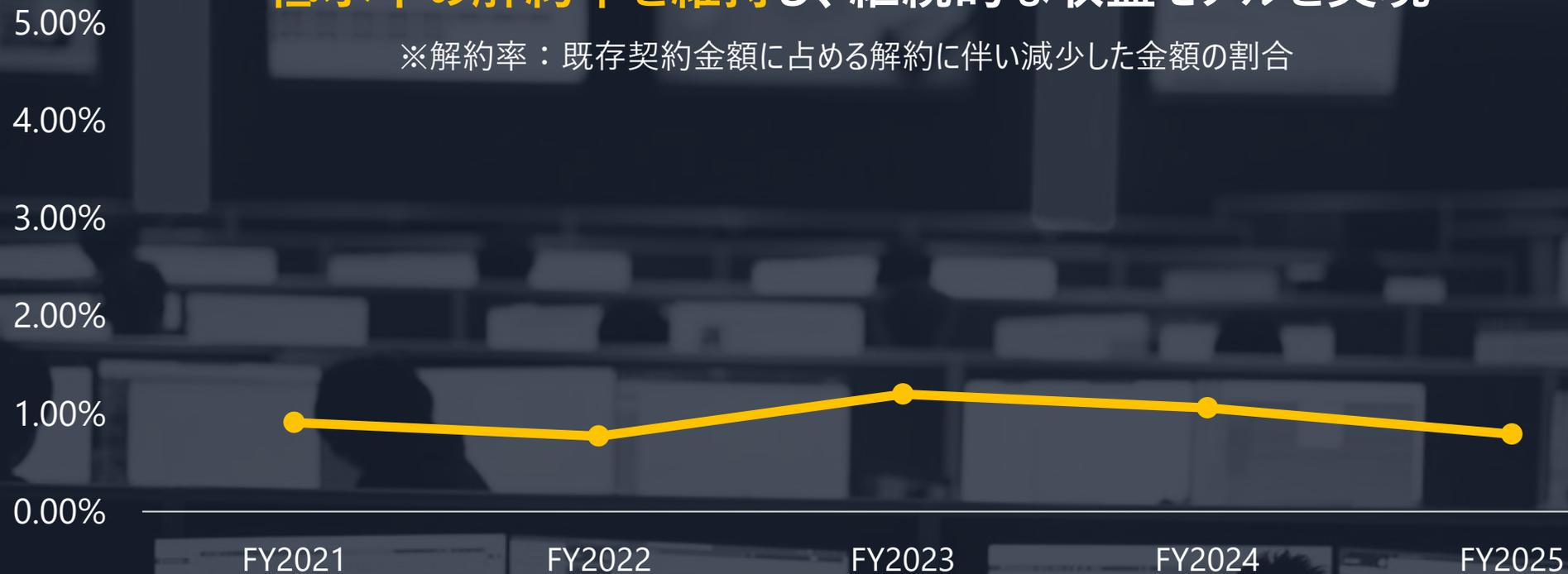
(単位：千円)



解約率推移

低水準の解約率を維持し、継続的な収益モデルを実現

※解約率：既存契約金額に占める解約に伴い減少した金額の割合



本資料の取り扱いについて

本発表に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。
将来の実際の業績や財務状況は、予測とは大きく異なる可能性があります。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込みまたは買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。個別契約やビジネス等に関する情報につきましては、秘密保持契約等に基づき原則非開示となりますが、開示が可能となった段階で適時適切にニュースリリース、適時開示を行ってまいります。
IR取材や決算説明会等におきましても、上記と全く同様の対応をしております。